

議事録

平成19年度 第64回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年12月26日(水) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷外国語学部長、赤塚文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、棚次学術情報総合センター長、伊藤国際教育交流センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、吉塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配付資料

- 1 - 1 教員採用選考報告書(基盤教育センター)
- 1 - 2 異動申出書(都市政策研究所)
- 2 大学院学則及び規程の改正について
- 3 - 1 学部長等の選考に関する規程の一部改正について(案)
- 3 - 2 学部等選挙実施要領(案)
- 4 北方キャンパスにおける教員評価制度の見直しについて
- 5 関門地域の未来を考える研究会関連記事

(冒頭、第63回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の採用等について

* 前回の教育研究審議会において提案された基盤教育センター教養教育部門(倫理学、哲学、思想領域担当)の採用候補者(伊原木 大祐氏)について、再度、選考委員会から教歴の修正及び職位の変更(講師から准教授に変更)を行ったうえで選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料1-2のとおり、都市政策研究所の教員1名(木村 温人氏)の社会システム研究科への異動希望について、学部学科間人事調整委員会から同委員会の審議結果の報告がなされ、同報告に基づき平成20年4月1日の異動を認めることについて提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

議事録

第2号 大学院学則等の改正について

* 社会システム研究科博士前期課程の再編及び国際環境工学研究科新専攻の設置に伴う大学院学則等の改正について、資料2のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学部長等の選考に関する規程の改正及び学部等選挙実施要領について

* 学部長等の選考に関する規程の改正について、資料3-1のとおり提案。
学部等選挙実施要領について、資料3-2のとおり提案。

国際環境工学部と基盤教育センターひびきの分室は、1月15日の教育研究審議会で担当教員の確認を行うこととする。

このため、学部等選挙の投票開始日程を1日遅らせ、すべての学部等において、投票日を1月16日～18日、開票を1月18日、学長への報告を1月21日とする。

学部等で選挙管理委員を指名した際には、事務局に委員の氏名を届け出ることとする。

学部等選挙の投票は2名連記となっているが、1名のみ氏名を書いた場合は無効とするのか。

当該投票は有効とする。1枚の投票用紙に同一候補者を連記した場合は無効とする。

【議長】提案について、本日の議論を踏まえ修正のうえ、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 教員評価について

* 北方キャンパスにおける教員評価制度の見直しについて、資料4のとおり提案。

今回は制度の骨格を示したものであり、4領域(教育・研究・社会貢献・管理運営)の評価配分や教員研究費の増額分、C評価の基準等の詳細は、今後、教員評価委員会で検討する。

各種委員会への貢献度を評価対象外とすると、誰も各種委員をやらなくなるのではないか。今後の委員会活動に悪影響を及ぼさないか。

各種委員会への貢献度については、これまでの定量評価ではなく定性評価として自己評価に組み込む方向で検討を行う。

従来の研究活動報告書と、自己評価として作成する活動報告書との関係はどうなるのか。両報告書を統一する方向で検討を行う。

定性評価が主体となると、評価者の恣意性が評価に大きな影響を与える恐れがあるが。

複数の者が評価することによって恣意性を排除できるのではないか。教員評価委員会で

議事録

さらに検討を行う。

S評価をつける過程は定量的にならざるを得ないのではないか。事務が煩雑化しないか。事務が煩雑化しないよう教員評価委員会で検討を行う。

【議長】教員評価制度の見直しについては、今後、学部等の意見を踏まえて教員評価委員会で詳細を検討したうえ、改めて教育研究審議会に提案するものとしてよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

関門地域の未来を考える研究会関連記事について、資料5のとおり報告があった。次回の審議会を1月15日(火)に開催する予定である旨、報告があった。